色　彩　頭胸部は黄褐色にして，中窩及び三日月形凹紋は濃色，眼域は黒く，上顎は背甲と殆ど同色。牙は褐色，下顎及び下唇部は淡黄色なり。

第一歩脚腿節は淡黄褐色，膝・脛・蹠節は濃褐色，跗節は淡褐色なり。他の3脚は略同色にして各節とも淡黄褐色。基節・胸板・第一歩脚の膝・脛・蹠3節を除ける各歩脚の下面は何れも黄白色なり。

腹背の斑紋は褐色，他は淡黄褐色なれども前方兩側は黄白色を呈す。腹部下面は胸板・基節等と殆ど同色，蛛疣は白色に近し。

備　考　本種はカネコトタテグモ *Acu'tyma Roretzii* L. Koch, 1877 に最も近き種なれども，前者は雄未だ發見されず後者は雌未だ發見されず，從つて兩種の比較は困難なれども次の如き諸點に於て明らかに別種なりと認むるものなり。

A. yesoensis Uyemura	*A. Roretzii* L. Koch
1. 背甲の高さは幅に優る。(4.5 : 3.5)	1. 背甲の高さと幅は相似たり。(5.5 : 5.5 = 1 : 1)
2. 背甲前緣部の幅は眼域の幅の約3倍なり。	2. 背甲前緣部の幅は眼域の幅の約5倍に達す。
3. 背甲の後部は目立つて細らず。	3. 背甲の後部は目立つて細る。
4. 頭部は胸部より稍隆起す。	4. 頭部は胸部より著しく隆起す。
5. 上顎は大して强大ならず。	5. 上顎は强大なり。
6. 腹背の前方には横向楕圓形無毛の心臟斑あり。	6. 腹背の斑紋は長王字形にして粗毛を生ず。
7. 腹背の皮膚には横皺あり。	7. 腹背の皮膚は滑澤なり。
8. 胸板の高さは幅に優る。(2 : 1.5)	8. 胸板の高さと幅は相似たり。(3 : 3 = 1 : 1)
9. 下唇部の高さは基部の幅に優る。	9. 下唇部の高さは基部の幅に劣る。
10. 前絲疣は後絲疣の基節及び中節より短し。	10. 前絲疣は後絲疣の基節と略同長なり。

カネコトタテグモの記載

植　村　利　夫

東京市瀧野川區西ヶ原町三一〇

予は今回北海道産トタテグモ類の一新種 *Acattyma yesoensis* の記載をなすに當り，それと比較研究のため，同屬なるカネコトタテグモ *A. Roretzii* の形態を稍詳細に觀察するの機會に惠まれたり。依つて此所に其の大要を記述し，一は *yesoensis* との比較の爲に，一は今後本種を研究せんとする士の參考資料に供せんと欲するものなり。

本記載は小松敏宏氏所有信州產の標本に依つてなせり。標本の拜借を賜りし同氏に感謝の意を表す。

Acattyma Roretzii L. Koch, 1877 カネコトタテグモ

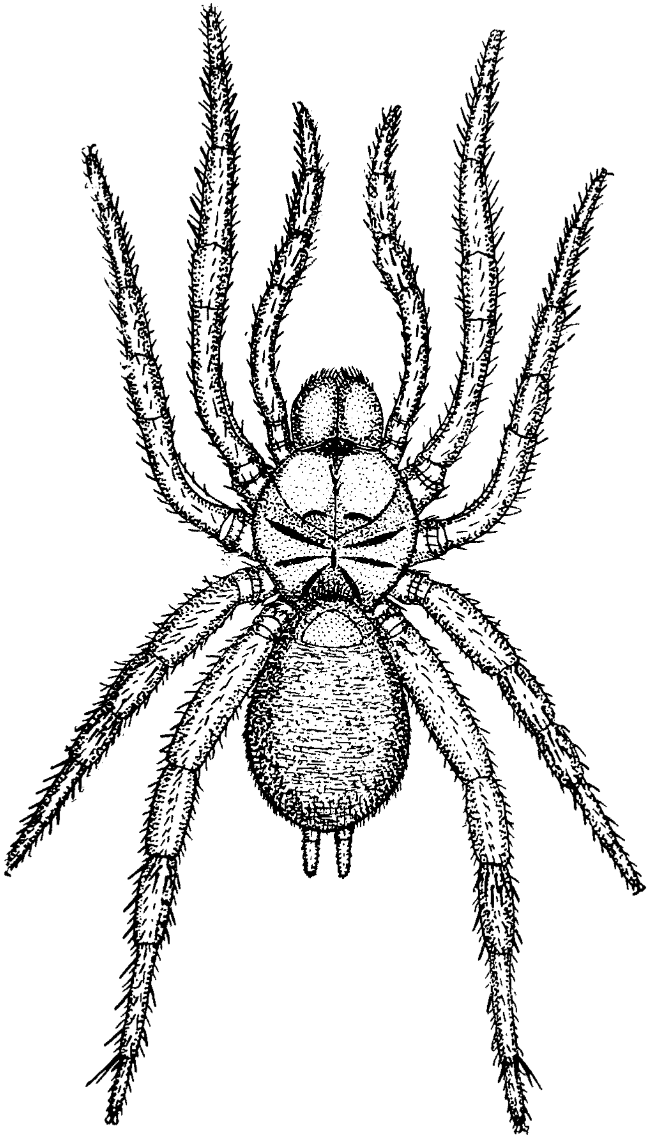
〔測定〕 體長 11 mm. 頭胸部長 6 mm. 幅(第一第二步脚間) 5.5 mm. 腹部長 6 mm. 幅(中央部) 4.5 mm. 上顎長 2 mm. 附屬肢は次表の如し。

肢＼節	全長	腿節	膝節	脛節	蹠節	跗節
觸肢	10.0	3.8	1.9	2.3		2.0
第一步脚	14 0	5.0	2.3	2.7	2.5	1.5
第二步脚	12.0	4.0	2.1	2.3	2.4	1.2
第三步脚	11.0	2.8	2.5	1.8	2.2	1.7
第四步脚	14.5	4.1	2.5	2.5	3.6	1.8

〔形態〕 背甲は第一第二步脚間に於て最も幅廣く，それより前方と後方に於て狹まるが，特に後者に於て著し。背面の前半即ち頭部に相當する部分は後半即ち胸部に相當する部分よりも著しく隆起し，其の境界に明瞭なる幅廣の頸溝あり，肉眼にて見る時は其の一部分が正中線の兩側に於て特に目立ちて三日月形に凹む。頸溝より後方は平滑にして，明らかに縱向の中窩と 3 對の放射溝を有す。蓋し中窩の縱向は本屬の特徵とする所なり。

8 個の單眼中直眼のみは淡黑色にして，他は全部淡黃乳白色なり。前側眼は最大にして楕圓形を呈し，其の長徑は直眼の 2 倍以上にも達す。直眼と前側及び後中眼との距離並に直眼相互の距離は略相等しく直眼の約 1 直徑なり。後側眼は後中眼よりも稍大にして，相互の距離は前側眼への距離よりも小なり。眼域の後方正中線上に數本の剛毛を生ず。

上顎は强大にして基部稍隆起し，上半部及び內側に剛毛を密生し，特に後者の毛は長し。其の最先端即ち牙の前基部には全幅に亘りて耙器(刺列)を有す。



Acattyma Roretzii L. Koch　カネコトタテグモ　(成雌)

下顎は前方開きにして前外・後外兩角は圓く，前内角は尖り，長短の剛毛を密生す。下唇部は概形三角形を呈し，上下縁は弧狀に凸出す。其の基部の幅は高さよりも稍大なり。胸板は中凸にして剛毛を粗生し，第三步脚間に於て最も幅廣く，其の長さは約3 mm. にして高さに等し。

觸肢腿節は側方より稍扁壓せられ，外方に少しく彎曲す。脛節の內外兩面に2列の刺毛を有す。第一第二步脚腿節は觸肢同樣に稍扁壓せられ，外方に彎曲し，上下面に長毛列をなして生じ，特に後者の基部に於て著し。膝節上面にも1列の長毛を生ず。脛節下面には4—5本よりなる1刺列，蹠節には6—8本よりなる2刺列を有し，跗節內側にも2本の刺を裝ふ。第三步脚は最短にして腿・膝・脛3節は前2脚よりも遙に太し。膝脛兩節の上面には剛毛を密生し，且多數の刺を混生す。蹠節內側には3本の2刺列，上面に2刺を有す。第四步脚も第三脚同樣に太く，脛節上面に數本の短刺を有し，蹠節上下面にも夫々3本よりなる刺列あり，其の先端部には又數本の長刺を有す。此所に注目すべきは蹠節先端部の內側に8本の小刺一列に群生する事にして，本種同定上の一特徵となすに足らんか。各步脚端には3爪を具備し，上爪には4本の齒を有す。

腹部は長卵形にして，短毛を生じ，背面には細かき橫皺を密布す。前方には橫に廣き心臟斑を有し，該部は無毛なり。書肺は2對を有し，內1對は胃外溝よりも後方に位す。蛛疣は2對にして中疣を缺く。前疣は圓筒狀にして先端部次第に太く，後疣の基節と略同長なり。後疣は3節よりなり，第一第二兩節は略同長，末節は柱狀にして長し。

〔色彩〕 頭胸部背面は淡黃褐色なれども，特に前縁部・正中線部・頸溝及び放射溝は暗色なり。上顎は濃褐色，牙は基部茶褐色にして他は黑褐色なり。下顎は褐色，各步脚の基節は淡黃褐色なれども第一第二と後方に移るに從ひ次第に其の色淡し。胸板は褐色．但し其の前縁部と筋點は茶褐色にしてよく目立つ。其の部分には毛を生ぜず。下唇部は下顎と同色にして先端部のみ淡色なり。腹部背面は淡黑褐色にして前縁部及び心臟斑は黃褐色。附屬肢は總じて背甲と同色なれども，觸肢は步脚に比して濃色なり。第三第四步脚の下面は特に色淡し。同下面は淡黃褐色，蛛疣は遙かに色淡し。